

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並会館維持運営			整理番号	87		枝番号	
担当部課名	区民生活部管理課	コード	050101		連絡先電話番号	3754		昨年度整理番号	86
係名	庶務係	上位施策名			No				
予算事業名	杉並会館維持管理	コード	12350		地域活動の推進			67	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立杉並会館条例・同施行規則				
	杉並区在住在勤在学者、区内事業者及び団体、その他利用を希望する者				(2) 杉並区立行政財産使用料条例・同施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		会館施設(宴会室、集会室)を地域住民等の利用者に貸し出す。会館施設の維持管理を行う。		(3) 杉並区立杉並会館処務規程				
活動指標名(式)		(1) 利用回数		(2) 利用人数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 適切に維持管理・運営することにより、地域コミュニティ活動の場を提供する。			
成果指標名(式)		(1) 利用率(利用回数÷利用可能回数)		(2) 対住民利用率(利用人数÷区民人口)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標			
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%
					計画	実績			
	活動指標(1)	回	4,806	2,333	2,500	2,593	2,500		
	活動指標(2)	人	62,848	48,047	50,000	49,170	50,000		
	成果指標(1)	%	44	43	46	47	45		
成果指標(2)	%	10	9	10	9	10			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	72,112	69,929	83,188	71,027	78,068	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成10年結婚式場機能廃止 平成15年第5展示室をアニメ資料室に転用 平成16年度展示室4室、多目的室、宴会室1室廃止 平成17年3月アニメミュージアム開設 16年度以降単位あたりコストが増加したのは、宴会室数、展示室数の減による活動指標の数値減のため	
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0		
	(内)委託費	千円	53,357	53,338	53,358	53,375	57,138		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.53	0.63	1.00	0.85	0.80		
	人件費	千円	4,767	5,733	9,060	7,701	7,248		
	常勤職員分(超勤分含む)	千円							
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	76,879	75,662	92,248	78,728	85,316		
	単位あたりコスト( - )÷	円	15,996	32,431	36,899	30,362	34,126		
	財源	千円	9,968	8,835	11,751	9,800	10,691		
受益者負担分	千円								
国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +	千円	9,968	8,835	11,751	9,800	10,691			
差引:一般財源 -	千円	66,911	66,827	80,497	68,928	74,625			
受益者負担比率 ÷	%	13.0	11.7	12.7	12.4	12.5			
17年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)			
	施設保守管理費(委託等)					39,918			
	施設運営業務委託(委託等)					13,457			
	施設維持管理費(光熱水費等)					17,528			
	施設整備費					124			
その他 ( )					0				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	103.7	活動指標(2)の17年度達成率%	98.3	17年度予算執行率%	85.4
		予算未達理由:アニメーションミュージアム開設に伴い平成17年度の施設維持管理費(光熱水費)を増額したが、実績残となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		今年度、耐震診断を行うこととした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和42年に建設されたが、老朽化が進行している。特に設備機器の老朽化が顕著に現れている。平成10年度の改装により、展示室及び多目的室を設置。平成15年4月に展示室の一部をアニメ資料室に転用。平成16年4月に展示室、多目的室、宴会室羽衣を廃止。平成17年3月に、展示室をアニメーションミュージアムに転用。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	施設は老朽化が進行し、今後施設維持管理経費の増大が見込まれる。本年度の耐震診断結果を踏まえ、施設の今後のあり方について検討を進めていく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:現在杉並区の公共施設の中では、宴会室機能をもった施設は少なく、区民の地域活動の拠点の一つとして、地域コミュニティ形成に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:修繕等経費の増加が見込まれ施設有効活用が困難なため 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:施設が老朽化しており区民へのサービス提供としては負担増は困難。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:当該施設は老朽化に伴い、今後設備修理費は増大する見込みがある。また平成10年度から、施設維持管理の一括委託を実施しているとともに、平成11年度からは駐車場の賃借の廃止を行い、経費削減を実現しており、これ以上のコスト減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 建物等総合管理業務及び窓口受付業務委託、機械警備委託、電気工作物保安業務を委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減      コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 18年度に行う耐震診断結果、アニメーションミュージアムのあり方の検討及び宴会場の代替施設の確保を考慮しながら、杉並会館の今後の方向性について検討する。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 19年度予算見積の方向性 (2) 理由	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし 18年度に行う耐震診断結果によっては、緊急修繕及び改修経費の増加が見込まれる。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民事務所等施設の保守・維持管理				整理番号	92		枝番号						
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050504		連絡先電話番号	3766		昨年度整理番号	90				
係名		地域施設係				上位施策名			No						
予算事業名		区民事務所維持管理		コード	12550		地域活動の推進			67					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1)										
	区民事務所及び区民事務所会議室の利用者				(2)										
	区民事務所及び区民事務所会議室の利用者				(3)										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民事務所(分室を含む)及び区民事務所会議室の施設設備保守・維持管理				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設利用に際して、利用者が不快感等を持つことがないように、施設設備を良好な状態に保つ。その結果として利用率の向上も期待され、地域活動の推進が図られる。											
活動指標名(式) (1) 区民事務所及び会議室建物総面積 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 予算執行率 (2) (代) 会議室利用率 (利用回数 ÷ 利用可能回数)											
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	8,105		8,447		8,447		8,447		7,913	7,913	106.7	
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	85		78		100		79		100	100	79.0	
	成果指標(2)		%	44		50		51		56		59	65	86.2	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	72,375		50,688		63,128		50,453		60,130	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) ・受益者負担は敷地使用料及び会議室管理人光熱水費負担金である。(会議室使用料は「区民事務所会議室運営」事業に充当) ・人件費の増は従事職員の実態に合わせて調整している。		
	(内) 投資的経費等		千円												
	(内) 委託費		千円	28,649		26,567		29,087		26,127		26,583			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.22	0.00	2.32	0.00	2.32	0.00	2.23	0.00	2.23			0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,979		21,112		21,019		20,204				20,204
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0				0
	総事業費 + +		千円	74,354		71,800		84,147		70,657		80,334			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	9,174		8,500		9,962		8,365		10,152			
	財源	受益者負担分		千円	176		549		497		332				213
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	176		549		497		332		213				
差引: 一般財源 -		千円	74,178		71,251		83,650		70,325		80,121				
受益者負担比率 ÷		%	0.2		0.8		0.6		0.5		0.3				
17年度の主な取組み		内 容							規模	単位	事業費(千円)				
		区民事務所等維持管理(区民事務所5所、区民事務所分室2所、区民事務所会議室19所)							26	所	50,453				
		その他 ( )									0				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	79.9
		前年度に引き続きISOの徹底が図られたため、光熱水費の支出が70.1%(対計画額)に抑えられた。建物修繕費についても69.1%(対計画額)と抑えられた。(緊急修繕については、当課で対応4,523千円)					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		管理方法について、年度途中(9月)から定期的な夜間巡回パトロール・点検を行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の組織改正により、17出張所が7区民事務所、2分室、1サービスコーナーに統廃合された。廃止した旧出張所は目的外利用の会議室として利用することになった。15年度末までに5施設を多目的集会機能を持つ会議室へと改修を行った。平成17年12月から高円寺北会議室を高円寺北区民集会所として改修するため閉鎖した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・会議室利用の苦情 近隣住民より騒音等利用者のマナーが悪いという指摘がある 設備のトラブルが発生した際に、施設に職員が常駐していないため、問題発生時に即時対応ができないという指摘がある。					
	今後の予測	・施設の老朽化にともなう、大規模修繕及び設備修繕の必要性が増す。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 利用件数の増加は、地域活動の推進が図られている結果であると考えられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 施設の利用環境を整えて行くためには、設備の改善が必要になる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 管理人の負担する光熱水費の適正な設定。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 設備機器が老朽化している施設が多いため、ランニングコストや修繕費の負担が増大している。改修費用がかかるが、設備を更新することにより施設の環境が向上され、コストの縮小が図れる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 一部の施設で、使用料の徴収や鍵の受け渡しの委託を行っている。(受付業者等) 鍵の回収を委託している。(シルバー人材センター)					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・無人会議室の管理方法の改善により、近隣住民及び施設利用者ともに満足度の高い施設にする。 ・老朽化した施設、設備機器を改修するとともに備品等の充実を図ることにより、利用しやすい施設整備を行っていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設改修及び設備の充実を図っていくためには、相当の投資が必要となる。投資した費用や増大する施設管理コストをまかなっていくためには、適正な使用料の設定等の検討が求められる。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 施設の老朽化に伴う緊急修繕及び改修経費の増加が見込まれる。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		町会・自治会活動支援				整理番号	99		枝番号	
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050501	連絡先電話番号	3767		昨年度整理番号	97
係名		地域係		上位施策名				No		
予算事業名		町会・自治会活動支援		コード	11450		地域活動の推進		67	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助金交付要綱 (2) 杉並区町会・自治会館建設等補助金交付要綱 (3) 町会・自治会等の認可に関する事務処理要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・町会・自治会の申請を精査し、会館建設及び掲示板設置経費の50% (上限額: 会館24,000千円、掲示板1基につき30千円) を助成する。 ・杉町連、地区町連、各町会に対し、相談、連絡調整等を行う。 ・主に転入者に対して案内チラシ・町会区域図を配布し、町会に関する情報を提供する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・掲示板や自治会館が設置されることにより地域における活動の拠点と意見交換・発信の手段が得られる。 ・町会・自治会活動を通じて地域の発展と住みよい環境づくりを推進できる。 ・町会を理解し加入する区民が増え、町会・自治会活動が活性化する。					
	活動指標名(式)		(1) 町会・自治会掲示板設置等助成数 (2) 町会・自治会会館建設助成数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 町会・自治会掲示板数の増加割合(前年度比) (2) 町会・自治会加入世帯 / 区内世帯数(4月1日現在)(代)					
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
	活動指標(1)	基	105	57	計画	実績	50	50	168.0	
	活動指標(2)	館	0	0	0	0	1	0		
	成果指標(1)	%	106	60	54	147	60	60	245.0	
	成果指標(2)	%	57	57	57	56	57	60	93.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,635	1,445	2,035	1,701	2,385	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0		
	職員数(常勤   非常勤)		人	9.06   0.00	8.12   0.00	8.12   0.00	7.81   0.00	7.81   0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	81,486	73,892	73,567	70,759	70,759		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	84,121	75,337	75,602	72,460	73,144		
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	801,152	1,321,702	1,512,040	862,619	1,462,880		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	84,121	75,337	75,602	72,460	73,144			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		町会・自治会館等の建設等助成				84	基	1,443		
		杉並区町会連合会連絡調整				17	地区	258		
		その他 ( )						0		



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	168.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	83.6
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	これまで随時申請としていたが、一斉申請とすることで周知徹底が図れることから平成15年度に、杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助金交付要綱を見直した。これに基づき、掲示板の助成を行い、各地区町会連合会に新たな補助金の制度の定着に努めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	町会加入率は減少または横ばい傾向にある。また、町会役員の高齢化や後継者難にある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ポスター掲示やチラシの回覧などの依頼件数が増加傾向にあり、委託金の増額等を考えてほしい。また、委託事項について、負担感を訴える声もある。				
	今後の予測	会館建設補助：新規は数年に1回程度で、既存の会館に対する修繕補助の需要が見込まれる。掲示板：助成基数が年々増加しており、今後も需要は増加していく。マンション世帯の増加や多様な価値観の中、町会加入率の急激な上昇は難しい。しかし、災害時や防犯に関するボランティア活動・行政との連携など、町会が地域で果たす役割は一層重要となる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由：会館は、地域の会合だけでなく葬祭などにも利用され、地域福祉の向上に貢献している。掲示板は、町会未加入者も恩恵を受けうるができるため、地域での情報交換、伝達に寄与している。また、町会活動の活性化を支援することで、区民が身近な地域での交流を深めることに寄与できる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容：  理由または具体的内容：掲示板を活用し、町会の活動や情報を提供し加入を促す。また、地域活動係による、よりきめ細かい町会・自治会の活動支援を行う。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：掲示板設置にあたって新設の場合、工事費用が税込みで7万円以上かかっており、現状でも受益者負担は大きい。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容：掲示板については、PFI方式の導入を促す。				
	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方：	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 良好な地域社会を実現することは区の使命であり、町会・自治会に対する支援の面からも、もっとも身近な行政である区が対処すべきであるが、掲示板の維持管理については、PFI方式を導入するなど民間との協働により対応可能な分野である。ただし、協働との実現には、PFI方式による掲示板設置業者の実績など考慮する必要がある。					
(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 役員の高齢化や後継者難、加入率の低迷といった課題が一樣に指摘されている。安全安心の住みよいまちづくりを築いていく上で町会・自治会の活性化は不可欠であり、今年度支援策を体系的に整備・検討していく。 町会掲示板の助成について：設置場所について、必要に応じて地域課が許認可事務等の仲立ちを努めることなどを通じより多くの町会が身近な地域の情報源としてこれまで以上にこの制度を活用できるようにしていく。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 掲示板の整備に町会・自治会の支援策の実施に際して成否のかぎをにぎるのは町会・自治会の危機意識と改善意欲である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区掲示板維持管理及び掲示物管理				整理番号	100		枝番号	
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050501	連絡先電話番号	3767		昨年度整理番号	98
係名		地域係		上位施策名				No		
予算事業名		地域住民活動推進		コード	11550	地域活動の推進				67
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区掲示板に掲示する掲示物取扱要領 (2) 杉並区区民専用掲示板管理要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(1)区掲示板の維持管理および掲示物の管理 (2)公衆浴場内へのポスター掲出 (3)区民専用掲示板の維持管理		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1)(2)区からのお知らせを区民に広く周知する。 (3)区民相互の情報交換の場を提供する。					
活動指標名(式)		(1) 区掲示板設置基数 (2) 区民専用掲示板設置基数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区掲示板へのポスター掲出枚数(代) (2)						
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
	活動指標(1)	基	494	489	計画	実績	530	530	83.2	
	活動指標(2)	基	130	127	127	127	170	170	74.7	
	成果指標(1)	枚	43,370	40,510	40,510	34,048	43,370	43,370	78.5	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,034	5,416	5,272	3,257	5,305	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 34048		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円	2,940	2,825	2,820	2,775	2,775			
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.91   0.00	0.58   0.00	0.58   0.00	0.78   0.00	0.78   0.00			
	人件費	千円	8,185	5,278	5,255	7,067	7,067			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円								
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	12,219	10,694	10,527	10,324	12,372			
	単位あたりコスト( - )÷	円	24,735	21,869	21,528	23,410	23,343			
	財源	千円								
受益者負担分	千円									
国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	12,219	10,694	10,527	10,324	12,372				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	屋内掲示板(委託等)		43	浴場	2,775					
	屋外掲示板		12	基	476					
	区民専用掲示板		3	基	6					
	その他 ( )				0					

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	90.2	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	61.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	17年度に区民専用掲示板についてNPO法人が整備・維持運営を担うPFI方式により、掲示板のリニューアルを図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区掲示板について:平成12年度から、町会・自治会に毎月1回ポスターの掲出を委託している。公衆浴場内掲示板について:公衆浴場は、昭和57年の106軒から減少し、平成18年3月は43軒であった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区掲示板について:掲示期間(現行1ヶ月間)をもっと長くしてほしい。より多くの区民の目に触れる場所に移設してほしい。老朽化しているものについては、すみやかに修繕してほしい。掲示するポスターについて、大きさを統一してほしい等の要望がある。				
	今後の予測	インターネットがさらに普及していくなかで、パソコンに接する機会が少ない区民との情報格差を生じないように注意しなければならない。公衆浴場数および公衆浴場利用者数は今後も減少が続くと予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:ポスターによる情報提供は、まだ需要が多い。また、各主管課からの掲示依頼も増加傾向にある。また、区民専用掲示板は区民相互の情報交換の場として非常に需要が多い。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:区掲示板・区民専用掲示板について、現地調査など地域活動系の機動力を活かし、迅速できめ細かな維持管理を行っているが、PFI方式導入により、より迅速で効率的な維持管理ができる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:PFI方式を引き続き推進する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容 )	NPO法人等が整備・維持運営主体となるPFI方式により掲示板維持管理を実施する。				
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 NPO法人と20年間の協定を結び、PFI手法により維持管理し、目標値まで随時増設していく。広告収入が増えれば、負担金が軽減される。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校地域防災連絡会活動支援				整理番号	101		枝番号	
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050501	連絡先電話番号	3764		昨年度整理番号	99
係名		地域係			上位施策名				No	
予算事業名		地域住民活動推進		コード	11550		地域活動の推進		67	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区学校地域防災連絡会支援要綱					
	学校地域防災連絡会		(2) 杉並区学校地域防災連絡会に対する助成金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
緊急時に助け合える自主的な防災ネットワークである学校地域防災連絡会の活動に対して、運営に関する相談、助言及び情報提供を行うとともに、会議費や行事等に要する経費について、補助金の交付を行う。		小学校区単位の地域における防災団体や住民が、連絡会を通してコミュニケーションを図ることにより、平時から防災に対する意識を持ち、発災時にも団結して災害に立ち向かうことのできるネットワークを形成する。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 年間会合開催回数		(1) 年間会合等実施率 = 会合等開催団体数 ÷ 団体数								
(2) 年間行事開催回数		(2) 年間活動目標達成率 = 会合等開催回数 ÷ 44学校区 × 2回								

  

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	回	53	97	44	40	0		
	活動指標(2)	回	40	14	44	0	0		
	成果指標(1)	%	80	86	100	100	0	0	
	成果指標(2)	%	106	126	100	0	0	0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	336	379	536	480	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度中に震災救援所へ再編し、事業主管を防災課へ移管した。	
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0		
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.88	1.52	1.52	1.35	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,915	13,832	13,771	12,231		0
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	8,251	14,211	14,307	12,711	0		
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	155,679	146,505	325,159	317,775			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	8,251	14,211	14,307	12,711	0		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				

  

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	震災救援所設立準備会の開催		40	団体	480
	その他	( )			0

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	90.9	活動指標(2)の17年度達成率%	0.0	17年度予算執行率%	89.6
		44団体のうち4団体が16年度中に震災救援所連絡会を立ち上げたため、残りの40団体への助成金支給となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		これまで小学校44校で編成されていた学校地域防災連絡会を防災課が中心となり、昨年度に地震災害時の震災救援所を管理・運営することを目的とする震災救援所運営連絡会へ改編した(中学校23校、小学校44校、計67校)。小学校4校、中学校23校助成金の交付は、防災課が行った。また、9月4日に67震災救援所において、震災訓練を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	44小学校単位に設立された学校地域防災連絡会は、地域防災組織のネットワーク形成を目的として、活動を続けてきたが、概ねその目的は達成された。今後は、発災時において、より実践的に活動できる地域防災組織の取りまとめ役として、震災救援所運営連絡会への組織形態を改編した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校地域防災連絡会が当初意図した防災ネットワークの形成という目的は、ほぼ達成されたという認識が共有化されている。					
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )	理由: 学校地域防災連絡会は、震災救援所運営連絡会へ改編されることで役割を終える。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 学校地域防災連絡会は、解散となったため。 理由または具体的内容: より実践的な地域防災組織として、防災課が所管する市民防災組織(防災会)が主体となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	今後の具体的な取り組み: 震災救援所運営連絡会として、発災時に円滑に機能できる組織基盤が定着するように、行政の関わりを明確にして、地域防災組織主導で取り組める環境を整える。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	小・中学校単位で市民防災組織が主体となる震災救援所運営連絡会へ組織が改編され、主管課が防災課へ移管されたため。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域活動事務(庶務事務)				整理番号	102	枝番号		
担当部課名	区民生活部地域課	コード	050501	連絡先電話番号	3763	昨年度整理番号	100			
係名	地域係	上位施策名			No					
予算事業名	地域住民活動	コード	11550	地域活動の推進			67			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			(1)					
	地域課職員				(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	事務事業の執行に各職員が必要とする事務用品の購入、郵送費の支出事務処理			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 効率的で無駄のない予算執行を図る。					
活動指標名(式)	(1) 地域課職員数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
	(2)			(1) 予算執行率						
				(2)						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	38	43	42	44	39	39	112.8	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,044	1,865	2,106	2,302	1,702	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 17年9月の水害対応により、役務費に補正予算42万円が組まれた結果、17年度の事業費の実績額が計画額より増加している。		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円				630				
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.36	1.75	1.75	1.68	1.68			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	12,232	15,925	15,855	15,221			15,221
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	13,276	17,790	17,961	17,523	16,923			
	単位あたりコスト( - )÷	円	349,368	413,721	427,643	398,250	433,923			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	13,276	17,790	17,961	17,523	16,923			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)				
	区民事務所管理 需用費					761				
	区民事務所管理 委託料 会議室等収納金回収委託料 * 区民課へ令達					630				
	地域活動事務 役務費					478				
	地域活動事務 需用費					433				
その他 ( )					0					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	104.8	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	109.3
		需用費としては、OA等を活用した事務事業の執行により、予算執行の削減が図られたが、役務費としては、17年9月の水害対応により、補正予算が組まれた結果、17年の計画を実績が上回り、執行率も100%を超えている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年11月の文書管理システムの導入により、文書の電子化と一元化が図られ、また庁内LAN、複合機の活用により、よりいっそうのペーパーレス化が進んだ。 18年度予算については、区民事務所管理の需用費のうち、複合機の設置台数が増加したため予算が増加しているが、17年度にあった事務処理委託料が減となったため、地域活動事務としては、約40万の削減となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年4月に組織改正により地域課が誕生した。本庁と地域活動係の間の連絡は、当初FAXや庁内交換により行っていた。平成14年度にPCが職員1人1台整備されたことにより、各種通知、事務連絡、調査回答などの事務を庁内LANにより行うことができるようになり事務の効率化、伝達事項の迅速化が図られた。さらに平成15年度に文書管理システム及び複合機が導入されたことにより、決裁、供覧事務の迅速化、ペーパーレス化が進んだ。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	今後予定されている、新財務会計システム、庶務事務システム等との業務連携により、さらに事務の効率化が進むと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 課内の基礎的事務費であり、必要性は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 今後予定されている新財務会計システム、庶務事務システム等との業務連携により、ペーパーレス化、事務の効率化が進むと思われる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 課内の事務を遂行するための経費であり、受益者負担は生じない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 新財務システム等の開発により、さらなるコスト減(特に帳票、用紙類)が図られる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新財務システム、庶務事務システム等の活用により、より一層のペーパーレス化、事務の効率化を進める。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 実施するにあたってはシステムの開発等も必要となるが、ペーパーレス化を進めるには、職員一人一人のより一層の意識改革が必要である。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 新財務システム、庶務事務システム等との業務連携により、事務用消耗品(特に用紙、帳票類)の削減が可能である。						



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民事務所会議室運営				整理番号	103		枝番号		
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050501		連絡先電話番号	3764		昨年度整理番号	102
係名		地域係		上位施策名						No	
予算事業名		地域住民活動推進		コード	11550		地域活動の推進				67
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		14年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区行政財産使用料条例、同施行規則						
	会議室の利用者				(2) 杉並区区民事務所会議室の目的外使用及び使用料減免取扱要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区民事務所会議室の維持運営 区民事務所会議室の目的外使用の貸し出し事務		(3) 杉並区地域団体の登録等に関する要綱						
活動指標名(式)		(1) 利用回数		(2)		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 適切な維持運営を行うことにより、地域コミュニティ活動の場を提供する。					
成果指標名(式)		(1) 利用率(利用回数÷利用可能回数)		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	22,873	26,865	27,650	29,832	31,430	34,626	86.2	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	44	50	51	56	59	65	86.2	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,964	3,500	9,212	5,521	7,365	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成14年度から、現在の予算体系とした。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	1,377	1,556	6,105	3,083	5,416			
	職員数(常勤   非常勤)		人	5.33   2.00	2.20   2.00	2.20   2.00	2.12   2.00	2.12   2.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	47,938	20,020	19,932	19,207	19,207		
		非常勤職員分		千円	5,518	5,760	5,780	5,780	5,780		
	総事業費 ++		千円	56,420	29,280	34,924	30,508	32,352			
	単位あたりコスト( - )÷		円	2,406	1,032	1,042	1,023	1,029			
	財源	受益者負担分		千円	10,146	16,264	15,132	16,701	14,788		
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	10,146	16,264	15,132	16,701	14,788				
差引:一般財源 -		千円	46,274	13,016	19,792	13,807	17,564				
受益者負担比率 ÷		%	18.0	55.5	43.3	54.7	45.7				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		夜間パトロール(委託等)				7	月	1,558			
		点検及び鍵回収(委託等)				1,507	件	1,525			
		需用費						2,438			
		その他 ( )						0			



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域集会施設事業運営				整理番号	104		枝番号			
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050501	連絡先電話番号	3764		昨年度整理番号	103		
係名					地域係		上位施策名		No			
予算事業名					地域住民活動推進		コード		11550			
事業開始年度					●昭和 ○平成		54年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
事務事業の概要	事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例				
	地域集会施設運営協議会(町会・商店街、PTA、青少年育成委員、公募等からの選出委員で構成される団体)							(2) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例施行規則				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)					教養趣味の講座・教室、まつり等のイベント、各種懇談会の実施、地域区民センター報の発行等地域集会施設における事業運営費として補助金を交付する。また、阿佐谷・高井戸・永福和泉地域区民センター図書室の運営について、人件費・事務費相当の金額で当該運営協議会に委託する。		(3) 杉並区地域集会施設等運営協議会事業に対する補助金交付要綱				
	活動指標名(式)					(1) 事業参加者数		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)				
						(2) 事業開催回数		運営協議会活動を通じて地域住民相互の交流を拡大し、地域コミュニティ形成を促進する。				
							成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
							(1) (代)事業1回あたりの参加者数 = 事業参加者数 ÷ 事業開催回数					
							(2)					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	86,176	78,765	85,000	90,454	92,000	95,000	95.2		
	活動指標(2)		回	726	703	750	701	710	720	97.4		
	成果指標(1)		人	118	112	113	129	130	132	97.7		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	159,354	157,206	159,053	156,995	159,113	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成14年度に荻窪・阿佐谷・高円寺の3か所、平成15年度に残り4か所について、運営協議会が受託していた各地域区民センター及び区民集会所の施設管理及び受付業務を民間に委託した。これにより、補助金の額は、運営協議会事務局職員人件費を補助金に加えたため、事業費が増加している。また、平成15年度から阿佐谷・高井戸・永福和泉地域区民センター図書室の運営管理を各運営協議会に委託したため、委託費が事業費として増加している。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	26,103	29,504	30,276	27,884	29,865				
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.55	1.97	1.97	1.90	1.90				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	22,935	17,927	17,848	17,214	17,214				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	182,289	175,133	176,901	174,209	176,327				
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	2,115	2,223	2,081	1,926	1,917				
	財源	受益者負担分		千円	251	968	1,000	730			1,000	
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	251	968	1,000	730	1,000					
差引: 一般財源 -		千円	182,038	174,165	175,901	173,479	175,327					
受益者負担比率 ÷		%	0.1	0.6	0.6	0.4	0.6					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		地域協議会事業補助金					7	所	126,327			
		地域区民センター図書室運営(委託等)					3	所	27,884			
		地域区民センター図書室図書購入					3	所	2,449			
		運営協議会事務費					3	所	335			
		その他 ( )							0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	106.4	活動指標(2)の17年度達成率%	93.5	17年度予算執行率%	98.7
		図書室の運営委託において、代替職員分の経費について残が生じた。また、運営協議会の事業において、センター祭りなどの集団事業開催の際に地域や近隣学校などに声をかけをし、参加者の増に努める等の工夫があった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		かねてから懸案事項であった図書室のセキュリティ確保のため、阿佐谷、永福・和泉の2センターの図書室入り口等の修理費を計上した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	運営協議会の開設以来、地域集会施設の運営管理全般にわたり業務の委託をしてきたが、平成15年度すべての地域集会施設にかかる施設管理及び受付業務を民間業者へ委託した。これに伴い、運営協議会の担う役割が地域コミュニティ形成にかかる事業の企画・実施が主となり、事業目的が明確化された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	これからの運営協議会は、これまでに形成された地域コミュニティの活力の向上・充実に図り、その活力を活用して地域の課題解決能力を養うような事業展開が必要となっている。一方、運営協議会委員の確保が困難な状況にあるため、委員確保のための普及活動を支援していく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:事業主体の運営協議会が、地域コミュニティ形成という目的を見失うと、講座・教室のカリキュラム編成を主とする民間のカルチャーセンターの代替事業になってしまう傾向があるが、区民のニーズは依然として高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:事業の実績評価がしにくく、得てして自己満足に陥ってしまう傾向にあるため、事業に対する効果測定を行い、時代や地域の情勢に即した事業を展開する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:事業参加者にとって、受益度の高い教室・講座等については、材料費や施設使用料等、施設の維持管理や事業の継続性を確保するために相応の金額を参加費とする。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容:参加費の事業費への充当により、事業費を節減できる。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題:地域集会施設等運営協議会(7所)					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域集会施設の受付業務を民間委託してから3~4年が経過し、貸し室業務が切り離されたことで、住民の地域力を向上させる事業展開を徐々に進めることができるようになってきている。しかし、依然として趣味や教養をテーマにした教室・講座等の事業展開が中心となっている。これからは、地域の課題解決を指向した講座の企画や多様な団体・個人で構成される運営協議会の特性を生かし、様々な自治活動や地域活動を支援する取組みが展開できるように誘導していく。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 運営協議会の自主性を阻害しないように配慮しながら進めていく必要がある。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現状の事業費で、地域の課題解決能力を養うような事業の展開など運営協議会の本来の役割が発揮できるように努める。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		NPO等活動推進協議会運営等				整理番号	105		枝番号		
担当部課名		区民生活部 地域課		コード	050501		連絡先電話番号	3767		昨年度整理番号	104
係名				地域係 協働推進担当				上位施策名		No	
予算事業名				NPO等活動推進		コード	11650		地域活動の推進		67
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		14年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例					
	学識経験者、区民、NPO等活動関係者、その他			協働事業提案制度により提案された事業		(2) 杉並区協働推進委員会設置要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			・NPO等の活動及び協働の推進に係わる調査審議(年4回程度) ・杉並区NPO支援基金の審査(年2回程度) ・区が行うNPO等との協働事業及び協働の進め方等に関する指導・助言(年8回程度) ・協働事業提案		(3) 平成18年度NPO等との協働に関する事業提案募集要領					
活動目標名(式)			(1) 協議会・委員会開催回数 (2) 提案事業数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・区長の附属機関として、区の協働推進の仕組み等に対する専門的な見地からの意見具申を積極的に行い、よりよい協働の推進に資する。 ・区とNPO等との協働事業のモデルとして、選定事業のよりよい協働実施を図る。						
成果指標名(式)			(1) 委員の平均出席率 (2) 選定事業実施率		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画		目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		回	5	10	12	11	12	12	91.7	
	活動指標(2)		件		22	35	34	40	40	85.0	
	成果指標(1)		%	84	95	100	97	100	100	97.0	
	成果指標(2)		%			100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,166	966	3,365	2,135	3,265	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	518	284	340	274	340			
	職員数(常勤   非常勤)		人				1.96	1.96			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	17,758			17,758
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	1,166	966	3,365	19,893	21,023			
	単位あたりコスト( - )÷		円	233,200	96,600	280,417	1,808,455	1,751,917			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,166	966	3,365	19,893	21,023				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			協働事業提案・協働推進委員会運営						1,209		
			NPO等活動推進協議会運営						922		
			協働推進事業						4		
			その他 ( )						0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	91.7	活動指標(2)の17年度達成率%	97.1	17年度予算執行率%	63.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		協議会について計画どおり5回の会議を実施した。 平成17年度に創設した「協働事業評価制度」に基づき、選定された協働事業(2事業)についての中間評価会議を、協働推進委員会において実施した。 協働事業提案制度に基づき、3事業を選定した。 前年より引き続き10名の委員で「協働事業評価制度」の創設に関して、活発な審議・検討を行った。また、協働事業を实践・検証していくための区の指針として、「すぎなみ協働ガイドライン」(指針)の改定を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	NPO等活動推進協議会は、平成14年9月に設置した区長の附属機関であり、NPO支援基金助成審査を行うとともに、区の協働推進の仕組みづくり等について審議・検討している。また、平成16年度から設置された協働推進委員会は、区とNPO等との協働事業提案の審査や評価を行っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし					
	今後の予測	「協働ガイドライン」に基づく区独自の協働推進の仕組みの検証・見直しなど、協議会・推進委員会が果たすべき役割はますます高まっていく。 また、協働事業提案制度及び評価制度を通して、NPO等の協働への関心の高まりが期待できる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 協議会、推進委員会の運営、協働推進事業の実施等を通じ、区のよりよい協働推進に向けた基盤づくりに寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 報告案件の精査や資料の事前配布などにより協議事項の審議が効率的に行われるよう努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 会議運営経費であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 条例・規則に基づき設置されている附属機関であり、今後とも現状同様の委員数が必要である。					
	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手	区長の諮問機関である協議会運営及び要綱設置の委員会運営のため、協働等は困難である。						
(3) 協働等の形態							

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 市場化提案制度等、区の新しい取り組みや動きを踏まえ、区の協働推進の仕組み等について、引き続き専門的な見地から積極的な審議を行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 積極的な審議を確保していくことができるよう、より一層柔軟な事務局運営に努める。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	協議会の開催回数は毎年度、4回程度を見込んでいる。



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	108.4	活動指標(2)の17年度達成率%	149.7	17年度予算執行率%	96.2
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		1 指定管理者制度の導入による施設管理等の効率化については、引き続き費用対効果等検討中。 2 団体登録使用料制度における使用者負担率の適正化は引き続き検討中。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	1 集会所等については、地域区民センター等機能が類似する施設が建設されている。 2 施設の老朽化により、修繕費の負担が増加している。 3 和田堀会館についてはホール機能を持たず、また施設の老朽化も相まって利用率が低迷している(利用率約28%)。 4 高円寺会館は平成17年度末をもって閉館(杉並芸術会館開設のため)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公共施設予約システム導入後、地域団体登録制度のカード不正所持や、個人から団体への付替え行為等により、ホール施設の予約がとりづらくなった。					
	今後の予測	1 維持管理については、一層老朽化が懸念され、修繕費が増加するものと思われる。 2 17年度で高円寺会館が閉館となり、改築後は演劇等に特化した施設となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 地域のふれあいや文化活動の推進を施設的な側面から支えている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設の適正利用の推進。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施設使用料及び団体登録使用料制度の見直しが必要。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: ISOの指針に基づき、省エネの一層の推進を図り、コストを低減させていく					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減    コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1 指定管理者制度の導入による施設管理等運営の効率化。 2 施設使用料及び団体登録使用料制度の見直し。 3 施設の適正利用対策の推進。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 1 地域区民センターと異なり、概して施設規模が小さいため、指定管理者制度の導入等に際しては、現行の管理体制とのコスト比較について厳密に検証していく必要がある。 2 利用者の理解を得、他施設との整合性をとることが必要。 3 利用者の普及啓発をいかに図っていくかがポイントとなる。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 高円寺会館が改築により、17度末で一時閉館したため。						



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理運営管理等委託(地域区民センター・区民集会所)				整理番号	111		枝番号			
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050504		連絡先電話番号	3765		昨年度整理番号	108	
係名		地域施設係				上位施策名			No			
予算事業名		地域集会所施設等維持管理		コード	12500		地域活動の推進			67		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		54年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2							
	施設利用者及び利用団体		(2) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例									
	施設利用者及び利用団体		(3) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例施行規則									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		施設の集会室、体育室、音楽室、工芸室等を地域住民等の施設利用者に貸し出す。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)								
活動指標名(式)		(1) 施設利用回数		コミュニティ活動の拠点である地域区民センター等が適切に維持管理・運営されることにより、活発な施設利用を行う。								
		(2) 有料利用者数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標								
				(1) 利用回数(トレーニング室除く)÷最大申込可能数								
				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	回	120,476	130,329	126,000	151,120	133,980	133,980	112.8			
	活動指標(2)	人	1,679,208	660,612		1,177,547	1,172,456	1,172,456	100.4			
	成果指標(1)	%	51	56	54	65	57	57	114.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	785,292	758,294	861,294	688,117	931,149	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(2)の数値の16年度の大減は、16年度からの公共施設予約システム本格導入により、算出方法が、延べ人員から実人員に変更になったため				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円	544,034	511,767	609,021	449,701	617,532					
	職員数(常勤 非常勤)	人	5.07   0.00	7.55   0.00	7.55   0.00	7.26   0.00	7.26   0.00					
	人件費	千円	45,600	68,705	68,403	65,776	65,776					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++	千円	830,892	826,999	929,697	753,893	996,925					
	単位あたりコスト( - )÷	円	6,897	6,345	7,379	4,989	7,441					
	財源	千円	123,456	137,659	130,964	141,526	131,705					
	国・都等からの支出金	千円	6,409	4,455	5,393	4,628	4,533					
特定財源計 +	千円	129,865	142,114	136,357	146,154	136,238						
差引:一般財源 -	千円	701,027	684,885	793,340	607,739	860,687						
受益者負担比率 ÷	%	14.9	16.6	14.1	18.8	13.2						
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)						
	施設維持管理運営等委託(地域区民センター7所・区民集会所9所)			16	所	688,117						
	その他 ( )					0						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	119.9	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	79.9
		当事業の中核となる建物総合管理業務等委託契約の、落差金額が大きなものとなったことが執行残の主要要因である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体登録使用料制度における適正な受益者負担について、引き続き検討中。</li> <li>・経理課の入札制度が改正され複数年契約が可能となったことから、当事業の中核となる建物総合管理業務等委託契約について複数年契約の導入を図るため、17年度は準備段階として仕様書の見直しを行った。</li> </ul>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設運営に関する使用者の要望がより多様化し、要望に対する機敏な対応が必要。</li> <li>2 厳しい財政状況から、より効率的な運営方法が要求される。</li> <li>3 18年度、高円寺地域において2箇所目の高円寺北区民集会所を開設。</li> </ol>					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 受託業者職員の接客の向上。</li> <li>2 施設整備・備品(運動機器・音響設備等)の買い替え。</li> <li>3 行政使用、運営協議会使用が一般使用を圧迫している。</li> </ol>					
	今後の予測	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区民の地域活動を支える拠点として区民センター等の必要度は益々高まっていく。より広範な層の活動参画を求めため勤労者層・若年者層がより利用しやすい施設運営に配慮していくことが求められる。</li> <li>2 施設維持管理については、老朽化に伴う、大規模修繕、計画修繕の必要性が増すものと思われる。</li> </ol>					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 多様で自主的な地域住民活動の場として定着し、地域活動の推進を施設的な側面から支えている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 資質評価型複数年契約を導入することにより、より良質な事業者を選定し、質の高い施設の総合管理を行うことで、利用者の満足度を高めていく。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: ISOの指針に基づき、光熱水費等省エネの一層の推進や計画的な修繕等により増大する施設コストを低減させていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: ほぼすべての業務に関して委託しているが、指定管理者制度の導入については今後の検討課題とする。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・資質評価型複数年契約の導入(平成19年4月から)。 ・利用者の実態や利用ニーズを踏まえた利用時間等の検討。 ・適正な受益者負担という視点から、地域団体登録制度のあり方等について引き続き検討する。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 使用料の見直し等については、利用者の理解を得ていくことが必要となる。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 17年度より経理課の入札制度が改正され複数年契約を導入する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域集会施設等整備				整理番号	112	枝番号	
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050504	連絡先電話番号	3765	昨年度整理番号	
係名		地域施設係			上位施策名			No	
予算事業名		地域集会施設等整備		コード	12780	地域活動の推進			67
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 17 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例				
	高円寺北区民集会所				(2)				
	高円寺北区民集会所				(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高円寺北会議室を高円寺北区民集会所に改修、1階にロビーフロアを設置、1階和室をフローリング仕様の部屋に改修、2階管理人室を集会室に改修して調理器具を設置、受付窓口職員を配置				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 当該地域における集会機能の一層の充実を図るため					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 面積				(1) (代) 予算執行率					
(2)				(2)					
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)			30,468	28,860				
	活動指標(2)								
	成果指標(1)			534	534				
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円			30,468	28,860	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円			30,468	28,860			
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤   非常勤)	人							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	0	0	30,468	28,860	0		
	単位あたりコスト( - ) ÷	円			0	0			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	0	0	30,468	28,860	0		
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)	
	高円寺北区民集会所施設整備					534	m <sup>2</sup>	28,860	
	その他 ( )							0	

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	94.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	94.7
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	既存施設は行政が使用しないときの目的外使用施設で、活動種目が限られた区民事務所会議室であった。その既存施設を整備改修し、高円寺地域に2箇所目の区民集会所として18年4月に開設した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	多様な活動種目に対応できる施設として改修したので利用率の向上が期待される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 部屋数の増加、利用者のコミュニティ空間の整備、部屋の仕様変更による多様な活動に対応。音漏れによる近隣住民に迷惑のかからないよう窓を二重サッシにし、受付窓口職員を配置し、利用者				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 区民事務所会議室を改修し、利用者のニーズに即して多機能化を図ったため、今後の利用が促進される。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:				
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題:				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由		



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共施設予約システム維持管理				整理番号	113		枝番号								
担当部課名		区民生活部地域課		コード	050504		連絡先電話番号	3765		昨年度整理番号	109						
係名				地域施設係				上位施策名		No							
予算事業名				公共施設予約システム維持管理		コード	11710		地域活動の推進		67						
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		15年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区公共施設予約システムの利用に関する要綱											
	施設の利用者及び利用団体					(2)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			公共施設予約システム「さざんかねっと」による施設の利用申込制度を管理運用し、改良する。		(3)											
活動指標名(式)			(1) システムによる施設申込回数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
			(2)		利用者が施設利用申込・教室(講座)申込を簡単・便利に利用できるようにする。また、抽選申込等の機能などにより公平に施設利用・教室(講座)申込ができるようにする。												
成果指標名(式)			(1) システムによる施設申込回数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標												
			(2)		(1) 施設有料利用者数												
			(2)		(2)												
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%						
					計画		実績										
指標		活動指標(1)		回		256,831		257,000		237,960		247,395					
		活動指標(2)															
		成果指標(1)		人		1,119,647		1,120,000		1,144,999		1,132,323					
		成果指標(2)															
総事業費・コスト把握		事業費		千円		75,144		84,897		85,347		73,558		<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 15年度については、システム稼働が年度途中(9月)からであり、情報システム課の事業に含まれていないため、本表には記載しなかった。 また、17年度計画については、16年度6月にシステムの大改修を行ったので、過年度の実績に基づく積算が不可能であるため、概ね前年度並みの数値を掲げた。			
		(内)投資的経費等		千円		0		0		0		0					
		(内)委託費		千円		64,694		68,928		56,332		54,398					
		職員数(常勤 非常勤)		人		5.22	0.00	5.22	0.00	5.02	0.00	5.02	0.00				
		人件費		常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	47,502		47,293		45,481				45,481	
				非常勤職員分		千円	0	0		0		0				0	
		総事業費 ++		千円	0	122,646		132,190		130,828		119,039					
		単位あたりコスト( - )÷		円		478		514		550		481					
		財源		受益者負担分		千円		0		0		0				0	
				国・都等からの支出金		千円		0		0		0				0	
特定財源計 +				千円	0	0		0		0		0					
差引:一般財源 -				千円	0	122,646		132,190		130,828		119,039					
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0							
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位	事業費(千円)						
		公共施設予約システム維持管理経費									67,973						
		その他		( )							17,374						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	92.6	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	100.5
		スポーツ施設と同一契約とすることでコスト増を抑えた。 システム改修については予算の範囲内で最大の効果が出るよう、利用者の要望等を踏まえ、修正内容を検討し実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		不正利用を防止するため、課内に施設適正化検討委員会を設置し、そのためのシステム改修を行い、不正利用の防止に努めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	システム稼働から2年余りが経過し、システムとしては安定期に入っている。しかし、システムの詳細を理解した利用者が、重複登録や予約の付替などの不正利用を行うようになり、一般利用者に迷惑をかける事例が報告されている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・重複登録や予約の付替などの不正利用による利用機会の不公平是正。 ・利用制限対象期間の延長(利用日3日前にキャンセルされても他の利用者は都合がつかない。キャンセル可能期間が長すぎる)					
	今後の予測	システム導入により、勤労者や若年層へと利用者層が広がり、地域的にも区全域や区外からの利用が増大したが、今後もこの傾向は進むと思われる。その分、施設状況を調べずに訪れる利用者とのトラブルや、重複登録等不正利用、営利目的利用等のさらなる防止対策も必要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 施設申込みの利便性を時間的・空間的に飛躍的に向上させることで、多様な層の施設利用のニーズに応え、ひいては地域の文化・コミュニティ活動等が活発になる環境を整備できるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 公平な利用の機会を保証し、利用者の満足度を高めるために、不正利用などを防止する枠組みを作る。そのために制度の検証・改正を行っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 地域団体登録制度の減額規定の見直しについて、制度的側面からの検討を行う。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: システム運用業務委託業者との適正価格による契約交渉をこれまで以上に厳格に行っていく。地域団体登録制度の減額規定の見直しを検討していく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 システム運用・改修の業務委託は高度に技術的な領域に属するため、専門メーカーへの業務委託が適切であるが、金額が適正であるか常に厳格にチェックしていく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1 施設の適正利用を行うための枠組みについて検討会を立ち上げ、システム改修の可能性を含めた方向性を検討中。 2 施設使用料及び地域団体登録制度等減免制度の適正化についての検討会を立ち上げ、適正な受益者負担等について検討を進める。 3 複数の団体構成員が同時に申し込みを行い、当選後団体利用に付け替える不正利用を防止するための措置(個別指導等)を定期的に行っていく。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 適正利用、施設使用料及び地域団体登録制度等減免制度の適正化を図るためには、システム改修を伴う可能性が高いため人的、物的なコストが必要となる。	

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区政協力委託				整理番号	114		枝番号			
担当部課名	区民生活部地域課			コード	050501	連絡先電話番号	3767		昨年度整理番号	110		
係名	地域係			上位施策名				No				
予算事業名	町会・自治会活動支援			コード	11450		地域活動の推進		67			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1)							
	杉並区内の町会・自治会(161町会)、杉並区町会連合会、杉並区地区町会連合会(17地区)				(2)							
	杉並区町会連合会、杉並区地区町会連合会(17地区)				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区政協力委託(区掲示板へのポスター掲出、ちらし等の回覧、公園、街頭消火器等公共設備等の損壊通報等)を締結するを円滑、適正に行うため、杉並区町会連合会に対し事務処理と連絡調整を委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域に定着した業務を町会・自治会に委託することにより、より地域活動を活性化させ、良好な地域社会の形成を目指す。								
活動指標名(式) (1) 委託契約を結んだ町会・自治会数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区掲示板へのポスター掲出枚数(代) (2)								
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
							計画	実績				
指標	活動指標(1)		町会	161		161		166	161	166	166	97.0
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		枚	19,793		18,135		18,135	18,628	18,628	18,628	100.0
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	39,443		39,593		40,408	39,790	40,617	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	39,443		39,593		40,408	39,790	40,617		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.82	0.00	1.74	0.00	1.74	0.00	1.67		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,375		15,834		15,764	15,130		15,130
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0
	総事業費 + +		千円	46,818		55,427		56,172	54,920	55,747		
	単位あたりコスト( - )÷		円	290,795		344,267		338,386	341,118	335,825		
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	46,818		55,427		56,172	54,920	55,747			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		区政協力委託(委託等)						161	町会	39,790		
		その他 ( )								0		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	97.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	98.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委託金の算出方法: 14年度から世帯割については町会区域内全世帯数に応じて算出し、均等割については段階制から一律25,000円の同額とした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	町会加入率は減少または横ばい傾向にある。また、町会役員の高齢化や後継者難にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ポスター掲示やチラシの回覧などの依頼件数が増加傾向にあり、委託金の増額等の要望や委託事項について、負担感を訴える声もある。					
	今後の予測	区掲示板のPFI方式導入による設置基数の増加や区からの協力依頼が増加傾向にあることから、事務量が増加している。マンション世帯の増加や多様な価値観の中、町会加入率の急激な上昇は難しい。しかし、災害時や防犯に関するボランティア活動・行政との連携など、町会が地域で果たす役割は一層重要となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区政協力委託については、低コストで地域全体の生活環境維持、区が行う各種事業への協力、区政情報の周知などが図られる。また、委託業務は各町会活動の活性化の一助となる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 定年等により地域に戻ってくる団塊の世代等をはじめ多様な世代に町会・自治会活動の参画を求め、より地域活動を活性化させていくことを通し良好な地域社会の形成を目指す。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者負担を伴う性質の事業ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 町会に対する協力依頼は年々増えていること、区政協力委託契約は平成12年度から始まった委託契約で、委託業務については各町会に浸透したこと、区からの協力依頼が増加傾向にあることから、委託内容の見直しや事業費の削減は慎重に考えるべきである。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ちらし等の回覧や公園、街頭消火器等公共設備・備品等の破損通報、各種統計調査の実施など、区政全般にわたる協力に対して包括的な委託契約を結んでいる。また、区と町会・自治会は密な連絡調整を行っており、協働の実現度は高い。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 役員の高齢化や後継者難、加入率の低迷といった課題が一樣に指摘されている。安全安心の住みよいまちを築いていく上で、町会・自治会の活性化は不可欠であり、今年度から支援等を体系的に組み立て実施に移していく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 町会・自治会活動を担っている役員の高齢化。定年等により地域に戻ってくる団塊の世代と呼ばれる人たちの協力を求める。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由							